

コメント 1

1 TOEFL の件 :

問題点 : 日本の TOEFL の点数は世界でほとんど最下位。

考察 : 自ら TOEFL は受験したこともなく、TOEFL の問題を見たこともありませんが、

- ・日本はかなりのマジョリテイが受験している。本当に自信ある人は受けない。
- ・アフリカのどこかの国はトップエリートが受験している

と言うことはないでしょうか？ もしそうなら、TOEFL の点数で国別の英語力の比較をすることは、あまり意味がないかも知れません。それでも、結局のところ、どこの国でも、英語が必要な人が受験しているのなら、TOEFL の成績が不十分なことは問題だと思います。

2 主要大学のトップに外国人(出来れば女性)を採用する件

本項目は開かれた組織にするための項目として記載されていますが、確かにトップに外国人がいることは、**開かれた組織の指標**にはなるでしょうが、もっと広くその目的を考える必要があります。

(1) 民間企業では、日産自動車、ソニー等の事例がありますが、その最大の目的は**シガラミの打破**、だった、のではないのでしょうか。これは事業目的の明確な企業だから成果がでた、とも言えます。

(2) 主要大学のトップに外国人を採用する目的は何でしょうか？

- ・大学の目的は高度教育と研究。この境界は必ずしも明確ではなく、逆に企業の目的は教育ではないが、企業活動を通して多くの人材が教育され育っていることも確か。ある程度実務を経て、海外留学/業務を経験した人の英語力は確かに強力で頼りがいがあります。
- ・教育面でも、純粹の技術、知識教育と人的教育(大学教育だけの問題ではない)の面では性格が異なるかもしれない。
- ・境界は明確でないとしても、研究目的であれば、受入れ態勢を整備して推進することに異論はない。
- ・教育も含めて、シガラミの打破を含めて何らかの改革を期待する目的で、外国人をトップに採用することは、主要大学には文化の継承者としての使命があることも考えなければならない。
- ・むしろ、日本人で、海外で実績を上げた学者、研究者、文化人を採用することが先決ではないでしょうか。江崎玲於奈氏の例がありますが、モット広め長く就任願いたい。このためには、国立大学の定年延長が必要かあるいは、早めに帰国頂くこともお願いしたい。
- ・女性か否は偏に個人の適性の問題ではないのでしょうか。特に女性に期待することは？

3 ガラパゴス化の要因と英語

よく言われる日本製品の**ガラパゴス化**の要因は何でしょうか

- (1) 元々世界で売れる革新的/トップ製品が少ない。De facto になる製品が少ない。
- (2) 製品はあっても国内でしか使えない。そのように設計してしまった。メーカーの認識不足。
- (3) 標準化に失敗して日本技術が世界の標準にならなかった。この要因に英語力が関係するのかもしれない。色々な要因が考えられ、多くの関係者の意見を聞いてみたいところです。
 - ・仲間作りに失敗、技術はよくても賛同者が得られなかった。極端には政治的につぶされた TRON。
 - ・英語力不足で技術をアピールできなかった。
- (4) 私の少ない経験では、Japan as No.1 と言われたころ光ディスクの ISO 標準化に一時期かかわったことがありますが、こちらの提案には自信を持っていたこともあって、英語ネックになることもなく提案を採択されることができました。日本が良い時だったから？ 今となっては昔話？